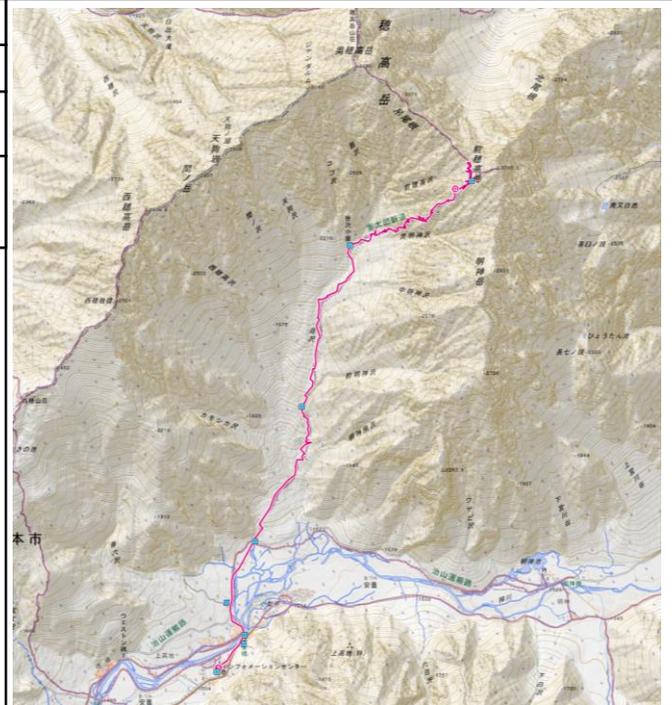


11月度 <b>例会</b> <b>個人</b> 山行報告書		報告者	谷口	参加メンバー	CL 小田 古 谷口
		報告日	12月例会		
山域	穂高連峰	山行日	11/13-11/14		
山名	奥穂高岳				
山行目的	初雪登山	コースタイム(天候:天気図記号)			

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会担当者



11/13(土) 曇りのち晴れ 穏やかな一日	11/14(日) 曇りのち晴れ 稜線付近は強風
2:00 刈谷発 6:40 あかんだなP 7:40 河童橋 10:30 岳沢小屋 14:30 雷鳥広場 15:10 紀美子平 テント設営 16:50 ルート工作 日の入り 22:00 就寝	5:15 起床 7:00 撤収完了・発 9:50 岳沢小屋 11:10 登山口 11:40 河童橋 13:30 ひらゆの森 15:00 昼食 19:00 刈谷着

〈山行報告〉 雪の奥穂高岳に行きたいというメンバーが集まった。出発時の調査ではそこまで雪はなく、難く行けるのではないかと思っていた。しかしあかんだなPですでに雪を見て、さらに上高地・河童橋まで行くと吊尾根が予想以上に真っ白であることがわかる。こんな状態の奥穂高岳に行けるのか？と不安になるが、心強いこのメンバーなら大丈夫だと思い進んでゆく。8時登山口発、雪の積もった登山道をアイゼンをつけずに歩いていく。10時半岳沢小屋着。見える穂高はやはり白い。さらに進むと雪も深く、斜度も出てくるのでアイゼン装着、新雪と岩のミックスに苦戦しながらも進む。この辺りでは雲が増え、景色が消えていた。途中日帰りで撤退する5人の登山客とすれ違う。さらに進むとトレースがなくなり、膝上のラッセルが必要な部分が出てくる。新雪を進んでいくのは楽しいが、この時期の雪はやりづらい。もう少し進むと、突然雲の上に抜け、西穂、明神、乗鞍と雲海が見えるようになった。一同ここで感動。来てよかったと思うとともに、がぜんやる気が出てくる。15時過ぎ紀美子平着。日没まで1時間半ほど、穂高岳山荘まで行く余裕はないと判断しテント設営。さらに明日朝のために小田さん、谷口で吊尾根をルート工作。高度感のあるトラバースを歩き、進めるところまでトレースをつけておく。ほぼ日の入りと同時にテントへ戻る。晩御飯は鍋。おいしいワインも楽しんだ。就寝前に外へ出てみると星がきれいに見えている。風はないがめっちゃめちゃに寒い。明日の好天を祈って就寝。次の日、起床前から風が出ており、時折テントが引っ張られるような強風を感じていた。起床後外を見てみると雲の中で、昨晩きれいに見えていた景色は見えず。奥穂方面の稜線に出るとさらに風が強くなるだろうことが予想されたので、このまま撤退することに決定。7時下山開始。降りていくと徐々に雲がはれ、奥穂が見えるようになった。しかしやはり稜線は雪が舞っており風が強そうだ。そんな奥穂がとにかく格好良く、また挑戦したいと心から思った。順調に下り、岳沢より下は解けて凍った雪に気を付け、11時半ころ上高地着。昨日とは違い上高地に雪はない。河童橋で記念撮影と、ソフトクリームを食べた。その後お風呂、昼食をすませ刈谷に19時着。初冬から厳しい冬山を楽しめた山行だった。

確認(リーダー)  
小田  
作成(報告者)  
谷口

〈リーダー所見〉  
前日に思わぬ降雪があり、楽しく、厳しい山行となりましたが、冬の奥穂高の魅力を変えて実感した山行でした。またリベンジしましょう。

DENSO



